

俺の名前は青木清。探偵だ。

3月半ば、春の陽気でうたた寝をしていると、一本の調査依頼の電話が入った。

「ピジヤという店を調べてほしい。」



店長のキム・チョカルさん

夕方、事務所のたろはなを出る際に上着を着て行こうか迷った。昼間は暖かいが3月の夜は時に肌寒いからだ。みんなも春めいた陽気には気をつけてほしい。それはそうと、俺は当たりをつけて調査対象の店へ向かった。見えてきた立て看板の電光掲示板に「カレー」「バー」「ピジヤ」と文字が躍っている。間違いない、この店だ。俺はガラス製の自動扉をくぐり、店に入った。夕食時にはまだ早いのだろう、今夜は俺が初めての客のようだ。店内は厨房を囲むようにカウンター席8席程度、店奥には4人用の座敷が8組ほど設けてある。そして4人掛けのテーブル1組、その前にはテレビが1台あり、「笑点」が放映されていた。そうか、今日は日曜日なのだ。俺はカウンター席に腰かけ、メニュー表をめくる。すると、店長らしき異国の地の男性がオーダーを聞いてきたので俺は応えた。

「生ビールとチーズナンをもらおう。」

早速、生ビールとともにもやしの漬物のようなお通しが出された。目の前の厨房ではコックが手慣れた様子でナンを仕込んでいる。「パンパン」という音が心地良い。しばらくするとチーズナンもテーブルに並んだ。俺は一口かじる。この店のチーズナンはとろけるチーズがナンで挟みこまれているタイプのものだ。ほんのりしたハチミツの香りと甘さを感じる。これがビールの苦みに程よくマッチした。腹が満たされた俺はレジへ向かった。店長が「今度はカレーも食べに来てくださいね。」と声をかけてくれた。会計を済ませた俺と入れ違いに2組の家族連れが入ってきた。そうさ、家族にとっての春のディナータイムはこれから始まるのさ。

■アジアレストラン&バー ピジヤ

営業 : ランチ 11:00~15:00 デイナー 17:00~23:30

定休日 : 不定休

住所 : 神奈川県川崎市多摩区堰3-6-3

電話 : 044-822-6190

(2階にも座敷があり、大型宴会可能。要相談)